



スロープソアリング時の遵守事項

60's ソアリング・クラブ？

目 的： 当クラブ員が、ラジコングライダーを飛ばす目的において、飛行可能場所で活動する場合の
安全対策、マナー等につき申し合わせる

1、総 則

飛行可能場所の利用にあたっては、他の利用者(観光客など)、施設等の安全確保が可能な範囲で実施しなければならない。また、自然保護に配慮し、ごみの放置、タバコの投げ捨て、直火の使用などは行ってはならない。

他の愛好者グループと遭遇した場合には、譲り合いの精神で共に楽しみ、また本取り決め事項に準じて利用いただくよう、願います。

2、保険の加入

(財)日本ラジコン電波安全協会のラジコン保険またはこれに相当する損害賠償保険に加入すること

3、人数と責任者

単独行は慎むこと。

原則として2名以上で活動し、この中で当日の責任者を選出する。

責任者はメンバーに対し、本取り決め事項を遵守させる責任と権限を有する。

4、飛行機

(1) 飛行機に可燃性液体などの危険物を搭載してはならない。

動力用電源は、発火の恐れが無いよう設定や取り扱い、搭載に注意すること。。

(2) 墜落・不時着時の捜索用に非常アラームの装着を推奨する。

(3) 整備不良(工作不良、調整不良を含む)の機体を飛行させてはならない

飛行前の動作確認では、コネクターの誤接続、送信機モデルの誤設定などに特に注意すること。

必要に応じて複数名で確認行為を行うこと。

5、周波数管理

適切な周波数管理ボード等を用い、同一周波数の誤発信を防止すること。



6、同時飛行の制限

空域の広さ、気象条件、飛行方法等を考慮し、以下の基準を参考として同時飛行の機数を制限すること

- (1) サーマル機同士の場合は3機
- (2) スロープ機同士の場合は2機
- (3) HOT LINER 機は1機
- (4) DS(ダイナミック・ソアリング)は同一サークル内で1機

これらの組み合わせについては空域の広さを考慮のうえその都度決定すること

7、気象条件と飛行制限

雲や霧などで一時的に機体が見えなくなるような気象条件での飛行は行わないこと。

降雨、降雪時は送信機に万全な対策をしている場合以外は飛行を自粛すること。

8、操縦者とアシスタント

飛行中や着陸時の安全確認と万一墜落時の場所特定等のため、可能な限り操縦者には補助者1名がつくこと。

9、機体の回収

万一、機体を墜落、不時着させた場合、可能な限り捜索し、回収するものとする。

墜落機体を放置することはゴミの不法投棄と同じである。

ただし、捜索は必ず2名以上で行い、危険な地域(急斜面、無理な木登りなど)には立ち入ってはならない。

10、その他

当該活動場所において、別途公園管理者などとの取り決めがある場合はこれを遵守しなければならない。

以上、60's ソアリング・クラブ? 員は、本申し合わせ事項を遵守するほか、良識に従い、安全で節度ある行動を行うこと。